

令和2年度1月号 [1月15日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

麒麟がくる

校長 安部正幸

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。さて、表題は現在NHKで放送中の明智光秀を主人公とした大河ドラマのタイトルです。当時、日本には麒麟が存在しなかったため、ここでいう麒麟はあくまでも中国神話に出てくる伝説上の動物です。その伝説上の姿を日本で身近に分かりやすく表しているのは、キリンビールのマークだそうです。

麒麟

伝説上では、泰平（平和）の世に表れる獣類の長とされている動物です。鳥類の長としての鳳凰と対に考えられることもあります。麒麟のように足の速い馬のことをキリンと呼ぶこともあります。故事では、一日に千里を走る素晴らしい馬とされています。

ちなみに、現代のキリンは首が長いのが特徴ですが、実は頸椎（首の骨）の数は人間と同じ7つです。好物の木の葉を食べるのに有利と言われています。足も長いのが特徴で、走る平均速度は時速50Kmです。100mを7.2秒、1Kmを1分12秒、10Kmを12分で走る計算になります。しかも、草食動物なので肉食動物から逃げ切るために長距離のほう得意です。さらに、キリンはまつ毛が長いのも特徴です。視野を広くするため眼球がやや出ていることから、まつ毛で目を保護しています。その長さは3～4cmあります。

「風の谷のナウシカ」と今を重ねて見る

話は変わり、今から36年前に宮崎駿監督のジブリ映画「風の谷のナウシカ」が公開されました。汚染された大地には異形の生態系である菌類の森「腐海」が拡がりその大気は猛毒でそれを吸うと肺が5分で

腐ってしまうため、人々は頑丈なマスクを着用していなければ生きていけないという設定でした。その中では愚かなことに、人間同士が争う場面も出てきます。今、新型コロナウイルスとの戦いの中で、私たちはマスクを着用して生活しています。一方、SNS等での誹謗中傷も絶えないと聞きます。現状を見ると何か36年前の映画と今とが重なって見えるような気がします。

麒麟は必ずくる

そのように考えると、現代は決して「泰平の世」とは言えません。しかし、このまま今の状況が続くとは考えていませんし、続けてはいけないと思っています。人類が一致団結して、現状を打破しなければなりません。当時の人々もきっとそのように考えて現状を変えていったのだと思います。「麒麟は必ずくる」と信じて今年を乗り切りたいものです。

青天を衝け

さて、2月14日から埼玉県の大偉人であり新一万円札の顔となる渋沢栄一を主人公とした大河ドラマ「青天を衝け」が始まります。今のコロナ禍から脱却し、「青天を衝きながら進む」そんな年になってほしいと願うばかりです。